

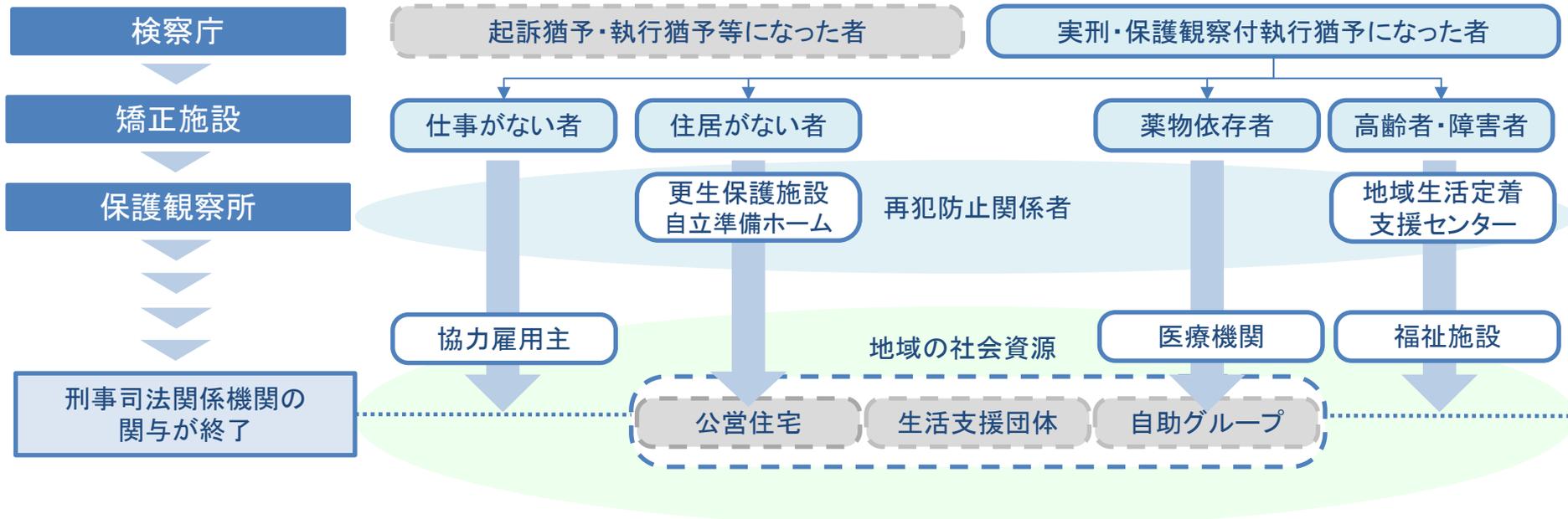
息の長い支援の実現に向けた課題

犯罪をした者等の多くが、仕事がない、住居がない、高齢で身寄りがいない、障害がある、薬物依存があるなど、社会復帰を困難とする様々な問題を抱えている。

▶ 犯罪の繰り返しを止めるため、地域社会において必要な支援を受けられるようにすることが重要

現在の対応状況

矯正施設、保護観察所等が中心となり、犯罪者等が抱える問題に応じて、必要な支援を受けられるよう調整を実施



起訴猶予・執行猶予となった者など、入口支援を実施する体制が整っていない。

刑事司法関係機関が中心となっているため、その関与が終了すると支援も途切れてしまう。

刑事司法関係機関の関与終了後は中心となる機関がなく、複合的な問題を抱えるケースに対応できない。

立ち直りという観点から、地域の社会資源が活かされていない。

矯正施設・保護観察所等を中心とする取組だけでは、刑事司法の入口から出口までのあらゆる段階を通じた、一人一人の特性に応じた立ち直りに向けた指導・支援の実施が難しい